

公衆衛生看護技術開発研究会

# ワザケン

the 18th ご案内

## 参加申込方法

- ・案内メールにお示ししたフォームから、もしくは、下のQRコードからお申し込みください。
- ・お申し込みいただいた方にメールで当日のYouTube URLを2日前までにお知らせします。

## 申し込み期限

- ・2021年8月30日（月）13:00

# コロナ禍の

# 母子保健活動の実際



講師

玉野市健康増進課  
課長補佐

多田 由美子氏

コーディネーター

岡本 玲子（大阪大学）

同上 健康推進係  
係長

萩原 雅子氏

田中 美帆（同上）

2021年9月4日（土）

13:30～15:00

## オンラインYouTube開催（無料）

ご自宅から、出先から、全国どこからでも、スマホやパソコンから、お気軽にご参加いただけます！

社会の変化に応じて、人々の「生」を衛るために公衆衛生の専門職はその活動を推進し、歴史を刻んできました。

とりわけ、公衆衛生看護を担う保健師は、ゆりかごから墓場まで、あらゆる状態・状況にある人々を対象に、より健康な方向をめざして、様々な活動を展開してきました。公衆衛生看護技術研究会（ワザケン）は、わたしたち保健師の公衆衛生看護技術を可視化し、確認・習得・普及するための教育研究活動を継続しています。保健師の自信と誇りをより高められるよう、みんなとともに歩めればと思います。ぜひご参加くださいますよう、お願いします。

2021年世話人：岡本玲子・蔭山正子・小出恵子・田中美帆（大阪大学）、岩本里織（神戸市看護大学）、塩見美抄（京都大学）、草野恵美子（大阪医科薬科大学）、合田加代子・髯高英代（甲南女子大学）、大阪大学大学院公衆衛生看護学教室

COMING SOON! (オンライン開催)

調整中

第19回 2021年11月20日(土) 13:30-15:00

コロナ禍で奮闘する保健師シリーズを継続！ 乞うご期待！

回	月日・テーマ	講師	所属	保健師やっぱワザってる！	回	月日・テーマ	講師	所属	保健師やっぱワザってる！
17	<b>New!</b> 2021.5.29 コロナ禍の保健師の奮闘！～みて・つないで・動かした実践を語る～	河西あかね	東京都福祉保健局保健政策部・東京都多摩府中保健所地域保健推進担当課長	誰もが初体験のコロナ禍で、保健師の本分を医師はじめ住民や多職種の方々に理解してもらい実のある協働を展開！センスあふれる見える化と対話が圧巻！	8	2018.11.17 保健師活動（知識・技術・魂）の伝承技	石川節子 柳瀬厚子	熊取町健康福祉部健康・いきいき高齢課 熊取ふれあいセンター 公益財団法人兵庫県生きがい創造協会（前兵庫県理事）	町民の幸せを願い、みんなで創出してきた数々の住民主体の地域活動。地域愛に根ざした協働力は直に学んできた後輩保健師によって引き継がれていく。 地域の実態を振り返り起こし、数々の公共政策を創出！信念と覚悟をもって取り組む姿勢と人材育成システムの整備によって成長した保健師は数知れない。
16	2021.2.20 多機関・多組織との連携調整の技術～コロナ禍の経験も踏まえて～	山崎初美	神戸市健康局担当部長・統括保健師	統括保健師として保健師間・多職種間で円滑な人間関係を構築しつつ、門的判断と経験知を活かした柔軟な連携技術で新型コロナウイルス感染症に立ち向かう	7	2018.8.18 行政の支援が行き届きにくい方々への支援	原政代 亀岡照子	東京保健医療大学 和歌山看護学部 教授 前大阪市保健師	生活保護課の保健師活動の先駆けとして、他職種を尊重しながら、組織的に改革し、生活保護世帯の人々の生活と健康を護る仕組みを構築。 あいりん地域のすべての人々の支援に奮闘。関係機関との強いネットワークを基盤に、常に当事者目線で信頼関係をつくり、自律を支援。
15	2020.11.21 地域の強みを高める保健師のソゴワザ発見伝！	岡本玲子(大阪大学) 他 研究会メンバー一同		ワザケンで聴いた多くの語りから「地域の強みを高める公衆衛生看護技術」をまとめて書籍にしました！保健師のソゴワザを共有し、自信と誇りにしましょう！ <b>YouTubelに公開しました！ぜひご覧ください！</b> <a href="https://www.youtube.com/channel/UcAi7gDFCFmeBl5-HlIQQeAuQ">https://www.youtube.com/channel/UcAi7gDFCFmeBl5-HlIQQeAuQ</a>	6	2018.5.19 地域に潜む課題把握と活動創出の技術	有馬和代 吉田由佳	大阪市東淀川区役所 地域包括ケア推進担当保健士幹 兵庫県豊父市健康福祉部健康課 保健師	すべての結核患者に尊厳ある治療・療養環境を！ホームレスの人々がおかれている状況に端を発し、人として生きることを丸ごと支援するDOTSを創始。 高齢者が笑って暮らせる地域に！現行の施策への疑問から、高齢者意識調査を経て、新たな介護予防事業を創出。その熱意と明るさに皆が惚れる。
14	2020.9.27 阪神淡路大震災時の活動に学ぶ保健師の健康危機管理の原点	中野則子	前兵庫県看護協会会長 元兵庫県保健師	未曾有の大災害に「住民の生命と生活を護る」信念のもと、人々の声を聴き、実態を可視化し、中長期的施策に活かす、迅速かつつれない統括保健師のワザ	5	2018.2.17 時代の変化に広がるスクラップ&ビルド	岩知道望 佐原直美	岡山県津山市子ども保健部 こども子育て相談室 主任保健師 静岡県磐田市健康増進課課長	ハイリスク母子対象のクローズド事業をスクラップ。何が大事か、保健師間で意見交換を重ね、地域ですべての親子が育ち合う、交流ベースの事業に転換！ 保健活動の根幹である地域づくりの推進へ。確固たる意志で保健師組織を業務分担から地区分担へ。事務職と協同した全庁的な体制変換のソゴワザ
13	2020.2.15 本庁・企画部門で発揮される施策化のワザ～一人ひとりを大事にすることの結実として～	山野井尚美 國富優香	岡山県保健福祉部健康推進課 課長・ 全国保健師長会会長 岡山県保健福祉部健康推進課 総括参事	新人時代から積み重ねてきた人とのつながりと個別支援が活かされて、本庁や企画部門での様々な事業や体制づくりを実現。基本は個別支援にある！ 本庁や企画部門で、現場感覚を持って住民の声を伝える役割を発揮。住民の顔を浮かべながら目指す姿を描いていく。他の職種の熱意に火をつける着火役！	4	2017.11.18 地域に入り人々を動かす公衆衛生看護技術	梶山直美 小路浩子	大阪府看護協会 労働環境支援部 部長 前堺市参事 神戸女子大学看護学部講師 前忠岡町保健師	経験を重ねながら行政保健師の使命を感じ、確固たる姿勢で住民の尊厳を守る。みる、つなぐ、うごかすのソゴワザ。全庁的なマネジメントも圧巻！ 障害があっても、場が人をつなぎ元気になる！どんな人も決して見捨てず、保健師が社会との接点として存在する！それは保健師だから成せるワザ
12	2019.11.16 時代の変化に広がるスクラップ&ビルドの活動	近藤康子 和家佐日登美	高槻市健康福祉部保健所保健予防課 副主幹 前奈良県医療政策局主幹	生活習慣病を重症化させない！家庭訪問の実態を大事に展開しようというチームで共有。優先度の高い健康課題に絞り、予算を抑えて効率化した事業に転換 顔がわかる関係づくりから多職種連携へ。自宅で療養したいという住民のニーズを感じ、既存事業の統合から地域在宅医療・包括ケア連携会議を構築！	3	2017.8.19 行政の隙間を埋める起業保健師の公衆衛生看護技術	北原慶作 二宮佐和子	合同会社 WNライフ・ながの 代表 非営利特定法人 コミュニティケア・ネットいずみ 副代表理事	行政保健師の支援から埋もれた人々を、常に対象者目線で、枠に捉われない支援。開業保健師としての活動は、保健師の新たな働き方の可能性が！ 行政保健師として培った知と技術と魂を地域全体のケア水準の向上に活かすべく一念発起して起業。自らのワザを惜しみなく全国発信・伝承しています！
11	2019.8.25 日本で子どもを産み育てる外国人家族を支えるワザ	安岡香織 市川智子	堺市南保健センター主幹 堺市南保健センター係長	増えて行く外国人への対応に、住民はみな同じサービスの質を！の精神で、若手の力も活かして予算カットし言語障壁なく媒体・体制を整えた。文化や価値観みんな違ってみんないい、外国人もコミュニケーションの一員に！をめざして、保健師一丸となって、集いの場を構築、これからも資源駆使して支えてく！	2	2017.5.20 地域の人々の健康づくりを推進する公衆衛生看護技術	福永淑江 新家静	大阪府港区役所保健福祉部 係長 高槻市保健師 前奈良市健康増進課	ピン！ときて高知市から島本町、島本町から大阪市へ輸入した「いきいき百歳体操」。絶対大事の一念で、ぶれずに推進、下支え！今も成果を上げてます。 感受性と使命感を育ててもらった新任者、大学院で目からウロコの理論活用、CHSのスキルで皆と協働し段階的に難病患者の支援体制を整えました！
10	2019.5.25 子育て世代包括支援センターにおける保健師の専門性と技	村上麻貴 鍛冶みか 西高知子	和泉市生きがい健康部健康づくり推進室 総括主任 同上 総括主査 名張市福祉子ども部健康支援推進担当理事 兼 子育て世代包括支援センター長	新しい枠組みの中で、元来、包括・継続支援を行う地区担を母子保健コーディネーターに。切れ目ない支援強化に向けて周産期ネットワーク部会を構築！ 全て完結するから切れ目がない…地域包括支援センターと共存する名張版ネウボラを確立。その根底には人材育成とソーシャル・キャピタル醸成の視点が！	1	2017.2.18 地域の強みを高める公衆衛生看護技術	川口真由美 山口世志子	高石市保健福祉部地域包括ケア推進課課長代理 岸和田保健所地域保健課 班長	住民主体のコミュニティカフェの波及を目指し皆のやる気スイッチを次々にonにするソゴワザ。人材活用術にもソッコン！ 在宅医療移行の必要な子どもと家族を支えるチーム医療連携の基盤を整えるソゴワザ。連携シートは他地域にも普及！
9	2019.2.9 当事者性を活かす公衆衛生看護技術～精神障がい当事者のピア活動～	上坂智洋子 大西万理子	洲本保健所健康管理課 担当課長補佐 一般社団法人くらしき代表理事(前岡山県保健師)	精神障がい当事者と運命共同体となって地域を変えた。当事者の発想に刺激を受け、既存の枠を飛び越えた活動を展開。有名な当事者活動の裏にこの人あり！ 予算獲得や施策反映が得意。保健師として最後に辿りついたのは、人間としての在り方が問われる精神障がい当事者活動。黒子に徹し当事者が輝く場をつくる。					